

2025年3月3日

台湾水上太陽光発電事業におけるコーポレートPPAに基づく売電開始について

当社は、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区）、CIEL ET TERRE（シエル&テール）TAIWAN LIMITED（本社：台湾）及び株式会社九電工（本社：福岡県福岡市）と共同で、台湾での水上太陽光発電事業（以下「本事業」）に出資参画し、台湾の再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下「FIT制度」）に基づき、事業会社を通じて台湾電力株式会社へ売電してまいりました。[（2018年4月9日お知らせ済）](#)

この度、本事業の売電を台湾の小売電気事業者であるKiWi New Energy Inc.（本社：台湾、以下「KiWi」）とのコーポレートPPA[※]に基づく売電（以下「本PPA」）に変更し、2025年3月1日より電力供給を開始しましたので、お知らせいたします。

本PPAは、発電した電力の大半をKiWiへ売電することで、安定した再生可能エネルギーの供給を行うものです。KiWiは、革新的なAIグリーン電力取引プラットフォーム技術に注力し、持続可能なエネルギーソリューションを提供する企業です。本PPAを通じて、環境への影響を軽減し、エネルギーコストを最適化することを目指しています。

なお、小売電気事業者であるKiWiは、本事業由来の再生可能エネルギーの電力について、Taiwan FamilyMart（ファミリーマート）Co.,Ltd.（本社：台湾）及びDecathlon Taiwan Co.,Ltd.（本社：台湾）へ供給する予定です。

台湾では2022年3月に発表した「2050年ネットゼロ排出ロードマップ」を達成するため、再生可能エネルギーの導入を推進しています。太陽光発電においては、2030年までに30GW、2050年までに40～80GWへの拡大を目指すなど長期目標を設定し、総電力に占める再生可能エネルギーの割合を大幅に引き上げる方針を掲げています。

当社は今後とも、高い知見を有する事業パートナーとともに、国外における再生可能エネルギーの普及並びに脱炭素社会の実現についても貢献してまいります。

※ コーポレートPPA（PPA：Power Purchase Agreementの略）：発電事業者が太陽光発電設備を発電事業者の費用で設置し、所有・維持管理した上で、発電した電力を小売電気業者や最終需要家に販売する仕組み

【事業会社概要】

名 称	AIBISHI (アビシ) ENERGY CO., LTD. (愛弼士能源有限公司)	CHAOHUI (チャオフエイ) ENERGY CO., LTD (昭暉能源股份有限公司)
発 電 所 名	樹谷第1発電所	樹谷第2発電所
所 在 地	台南市新市区樹谷サイエンスパーク内 調整池	
出資者・出資比率	東京センチュリー株式会社 60% CIEL ET TERRE (シエル&テール) TAIWAN LIMITED 20% 株式会社九電工 10% 九電みらいエナジー株式会社 10%	
最大発電出力	4,023kW	1,130kW
運 転 開 始	2018年12月	2018年 5月

【会社概要】

1. KiWi New Energy Inc.

商 号	奇異果新能源股份有限公司
本社所在地	台湾台北市
代 表 者	黄偉哲
設 立	2019年
事 業 内 容	小売電気事業

2. Taiwan FamilyMart (ファミリーマート) Co., Ltd.

商 号	全家便利商店股份有限公司
本社所在地	台湾台北市
代 表 者	葉榮廷
設 立	1988年
事 業 内 容	コンビニエンスストア事業

3. Decathlon Taiwan Co., Ltd.

商 号	台灣迪卡儂有限公司
本社所在地	台湾台中市
代 表 者	紀杰夫
設 立	2010年
事 業 内 容	スポーツウェア及びスポーツ用品販売業